

「名作文庫」通信



特集「妖美」

2017年

冬号

下井草図書館おすすめの本

「名作文庫」に新しく入った本や図書館おすすめの本をご紹介します。
これまで目に留まらなかった作家や、興味ある本を見つけませんか。



アントニーとクレオパトラ

【著】シェイクスピア 【訳】福田 恒存
【刊】新潮文庫 【資料番号】1012243844

シーザー亡き後のローマ帝国。次なる皇帝の座に野望を燃やすアントニーと美貌の女王クレオパトラ。野望と陰謀が渦巻くローマ帝国を舞台に、二人の情熱的な恋と運命を描き出す。シェイクスピア四大悲劇に並ぶ傑作。



或る女

【著】有島 武郎
【刊】新潮文庫 【資料番号】1012246219

著者を含む実在の人物をモデルとしながら、才気煥発の美女・早月葉子の人生を描く。奔放な情熱と世間の因習との乖離が次第に葉子の人生を押し潰し、ようやく手に入れたわずかな幸福も去り、残されたものは病と孤独であった。

ナイン・ストーリーズ

ナイン・ストーリーズ

【著】J.D. サリンジャー 【訳】野崎 孝
【刊】新潮文庫 【資料番号】1012243927

「バナナフィッシュ日和」、「コネティカットのひょっとこおじさん」など題名の愉快さとは裏腹な狂気を孕んだ結末が、若き人々の苦悩を抉り出す。繊細な感覚と緻密な表現で織り成す筆者の自選短編集9篇。



死の家の記録

【著】ドストエフスキー 【訳】工藤 精一郎
【刊】新潮文庫 【資料番号】1012245021

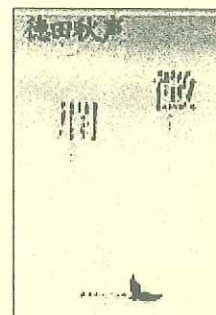
思想犯として逮捕されながら、恩赦によりシベリア流刑となった著者。極寒の地での想像を絶する獄内生活や凄惨な懲罰など、極限の環境下での人間を、深く鋭い観察眼と正確にして芸術的な筆致で綴る4年間の記録。



ブラームスはお好き

【著】サガン 【訳】朝吹 登水子
【刊】新潮文庫 【資料番号】1012245062

20世紀半ばのパリを舞台に繰り広げられる、ある男女の三角関係。39才…老いを感じ始めた女性と彼女に思いを寄せる二人の男性。それぞれの孤独と恋愛感情が緻密に描かれ、今もなお私たちの心に訴える恋と愛の物語。



黴 | 爛

【著】徳田 秋声
【刊】講談社文芸文庫 【資料番号】1012246409

表題の2作によって著者は自然主義文学の大家としての名声を確立した。自身の結婚とその後の無気力な生活をモチーフにした「黴」。遊女あがりの女性の辿る運命を描く「爛」。冷静な観察眼と徹底したリアリズムの真骨頂。



夜間飛行

【著】サン=テグジュペリ 【訳】堀口 大學
【刊】新潮文庫 【資料番号】1012243919

「星の王子さま」で名高い著者の実録的小説。『夜間飛行』は草創期の郵便飛行業に従事した、夜間飛行パイロットたちの物語。天候、戦争、事故…様々な状況下における彼らの勇気に満ちた行動は人間の尊厳を確認するとサン=テグジュペリは語る。処女作『南方郵便機』も収録。

特集「妖美」

頹廢と背徳の妖しい美の世界。寒さと闇に閉ざされた冬の夜、文豪たちの描き出す妖艶な世界を堪能しませんか？「名作文庫」に収蔵されている作品をご紹介します。



刺青・秘密

【著】谷崎 潤一郎

【刊】新潮文庫 【資料番号】1011946983

文豪・谷崎潤一郎の描く妖しい倒錯の世界。谷崎の告白と懺悔を綴る自伝小説「異端者の悲しみ」が彼の世界を物語る。表題作の他、「少年」「二人の稚児」など、耽美と妖美の饗宴を味わう一冊。



死霊の恋・ポンペイ夜話 他三篇

【著】ゴーチエ 【訳】田辺 貞之助

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011875075

情熱によって呼びさまされたさまよえる魂、キリストの教えを捨てた妖しき美女たちの競演。ヨーロッパ吸血鬼物語の傑作とされる「死霊の恋」、悪魔にとり憑かれたと思込み次第に狂気に蝕まれてゆく男を描く「オニユフリユス」を収録。



白衣の女 (上)

【著】ウィルキー・コリンズ 【訳】中島 賢二

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011877071

ある夏の深夜、自宅への道を辿る主人公は「上から下まで真っ白な服」を着た女と出会い、ロンドンまでの道を共にする…。この偶然の出会いから始まり、人々の思惑が錯綜するサスペンスドラマ。推理小説の古典「月長石」と双璧を成すミステリの古典。



いちご姫・蝴蝶 他二篇

【著】山田 美妙

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011824354

言文一致の技法と共に落剝の美女いちご姫が女盗賊となって波乱万丈の若き命を終えるさまを描いた「いちご姫」。文中に現れる「！」の多さは芝居か講談かの面白さ。不遇の作家山田美妙が描く、昔日の夢幻に舞う儚く悲しい美女たちの物語。



禁色

【著】三島 由紀夫

【刊】新潮文庫 【資料番号】1011997242

一生を女性に裏切られてきた老作家は、同性愛者の若き美青年を利用して女たちに復讐し破滅の淵へと追いつめてゆくが…。同性愛を中心として描かれるクルネッサンス的ヘレニズムの造型をめざした異色の小説。



甘い蜜の部屋

【著】森 茉莉

【刊】ちくま文庫 【資料番号】1011585161

森鷗外の長女の手になる、禁断の愛の物語。著者が還暦を迎えた後、10年をかけて紡ぎあげた父と娘の濃密な愛の物語。三島由紀夫をして「官能的傑作」と評せしめたきらびやかなロマネスクの世界。



短篇集 恋の罪

【著】サド 【訳】植田 祐次

【刊】岩波文庫 【資料番号】1010327649

背徳の愛、近親殺人…非日常のドラマの中で肥大化する想像上の悪と、虐げられる犠牲者たちの嘆き。美德と悪徳の鮮やかなコントラストと、その悲壮な結末を描く。サディズムという言葉を生み出したサドの「適法の小説」。

あの人、あの一言。

名作にちりばめられた一文にふと気が付かされる。
そんな一場面をご紹介します。

人間の最高の栄冠は、
美しい臨終以外のものではないと思った。

太宰 治『散華』（新潮文庫『ろまん燈籠』収録）

年少の友人である「三井君」と「三田君」の死について語りつつ、自身の内にある死への憧憬が垣間見える短篇。物語の中で「三田君」が戦地から送ったとされる一篇の詩は太宰に語りかける。

「大いなる文学のために、
死んでください。
自分も死にます、
この戦争のために。」

入水自殺を遂げた太宰が私たちに語りかけるのは
文学を活かすための死か、無益なる戦争と同じ死か。

「名作文庫」で読める太宰 治の作品

- ◇ きりぎりす【刊】新潮文庫 【資料番号】1011617006
- ◇ ろまん燈籠【刊】新潮文庫 【資料番号】1011997754
- ◇ 人間失格・桜桃【刊】角川文庫 【資料番号】1011543798
- ◇ 走れメロス【刊】角川文庫 【資料番号】1011543806
- ◇ お伽草紙・新釈諸国断【刊】岩波文庫 【資料番号】1011546304

…他

太宰 治（だざい おさむ）

1909年6月19日（明治24年）～1948年（昭和23年）6月14日（推定）
青森県北津軽郡生まれ。本名は 津島 修治。

無頼派の文豪。青森県内屈指の富豪の6男として誕生。父は貴族院議員、兄は県議員を務めるなど地元の名家でした。

学業は幼少期より非常に優れており、尋常小学校・小学校時代は常に首席でした。16歳ごろから同人誌を創刊し、小説や戯曲を発表し始めます。18歳で官立弘前高等学校（現弘前大学）に入学。卒業後東大仏文科に入学し、上京。井伏鱒二に師事し小説家を目指しますが、左翼運動や成績悪化・素行不良が目立ち始め、最終的には授業料滞納のため大学から除籍となります。

その後、当時の文学界に反発し、織田作之助・坂口安吾と共に「無頼派三羽烏」と呼ばれます。作家活動13年の間に『斜陽』、『人間失格』など多数の作品を発表し、現在も親しまれる作品を多数残しています。戦争中の困難な時期も創作に妥協しなかった数少ない作家の一人でもありました。

杉並区とも深いゆかりがあり、「太宰治」の筆名を使い始めたのも荻窪転居の頃からでした。船橋時代を挟んで2度、杉並区天沼で暮らしました。太宰が住んでいた碧雲荘は現在大分県の湯布院に移築され、「ゆふいん文学の森」として再生されています。

1948年、愛人と共に玉川上水に入水。享年38歳。当時「朝日新聞」と「朝日評論」に掲載された「グッド・バイ」が未完の遺作となりました。遺体の発見された6月19日を「桜桃忌」とし、彼を偲ぶ人々が今も墓前に集い、訪れる人は後を絶ちません。





下井草図書館だけにある特別な本棚、「名作文庫」。
一度は読んでおきたい古今東西の名著名作を
ハンディなサイズの文庫版・新書版で集めた本棚です。
同じ作者の同じ作品がいろいろな本で揃っているの
で、1冊ごとに違う解説、違う注釈、違う翻訳に
触れることができます。

題名だけしか聞いたことなかったあの作品、
いまこそ手にとってご覧になりませんか？

実は「名作文庫」の一部は保存庫に収められています。
でも『名作文庫 蔵書紹介』を見れば大丈夫！
保存庫の本のこともバッチリ載っています。
読みおわって熱い感動を誰かに語りたい…と思ったら、
『いまこそ名作！読書会』にその思いを投稿しましょう。
1階名作文庫コーナーに投稿用紙をご用意しております。
ご意見・ご希望などもございましたらぜひお寄せください。

季刊名作文庫通信
3・6・9・12月発行
下井草図書館